

12:30 開場

13:00 開会挨拶

班長 澤井高志
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 室長 千村 浩様
国際医療福祉大学大学院 院長 開原成允先生

13:20 今年度の活動計画

【テレパソロジーシステムの開発】(13:20-14:30)

「光ファイバーを用いた動画によるテレパソロジー実験」

野田 裕 (仙台市医療センター 仙台オープン病院消化器内科)

澤井高志 (岩手医科大学医学部病理学第一講座)

熊谷一広 (株式会社南部医理科 バイオ関連事業部)

松村伊知郎 (NTT レゾナント株式会社 コミュニケーション事業部)

「『P to P』方式による e-mail での病理医間ネットワークの形成」

猪山賢一 (熊本大学附属病院病理部)

森谷卓也 (東北大学医学部附属病院病理部)

一迫 玲 (東北大学大学院医学系研究科血液病理学)

大城真理子 (沖縄県立北部病院病理科)

井手祐二 (ピクセラコーポレーション)

「3次元断層画像を用いたバーチャル顕微鏡の構築」

石井 均 ((株) ケーアイテクノロジー)

稲垣伸介 (松戸メディカルラボラトリ)

安田仲宏 (放射線医学総合研究所)

本間義浩、梅島洋介 (セイコープレジジョン (株))

「TPG平成17年度研究計画」

古谷 敬三 (愛媛県立中央病院病理)

「ストレージの技術動向」

林 直人 (NHK 放送技術研究所 放送デバイス)

「医療現場におけるモバイルソリューション」

佐藤一夫 (NTT ドコモ法人営業本部第一システム事業部)

-----休憩 (10分) -----

【テレパソロジーの応用拡大】(14:40-15:50)

「移植病理におけるテレパソロジーの役割」

井藤久雄、庄盛浩平、安達博信（鳥取大学医学部基盤病態医学講座器官病理学）

「岩手県血液ネットワークの構築」

石田陽治、村井一範、菅原 健、小宅達郎、小和田周吾（岩手医科大学血液内科）

「乳腺疾患に対するテレパソロジー：病理医間コンサルテーションの実情」

森谷卓也、渡辺みか、遠藤希之（東北大学医学部附属病院病理部）

「前立腺生検とテレパソロジー」

白石泰三（三重大学医学研究科腫瘍病態解明学講座）

「組織バンク、疾病登録におけるバーチャルスライド」

飯塚徳重、星田義彦、青笹克之（大阪大学大学院医学系研究科病態病理学）

「琉大病理部臨床実習における遠隔病理実習への応用」

吉見直己、中山 崇（琉球大学医学部腫瘍病理学・病理部）

大城真理子（沖縄県立北部病院病理科）

「遠隔医療モデルの実証的検証 テレパソロジーシステムの教育への利用」

谷田達男（岩手医科大学附属病院卒後臨床研修センター・総合情報センター・
医学部呼吸器外科）

阿部 正、下沖 収（岩手県立久慈病院）

澤井高志（岩手医科大学医学部病理学第一講座）

【その他】(15:50-16:20)

「テレパソロジーのガイドラインについて」

土橋康成（(財)ルイ・パストゥール医学研究センター）

「遠隔医療の保険請求に関する検討VATS+テレパソロジーのコストと請求の課題」

長谷川高志（東北大学先進医工学研究機構）

「テレパソロジーの申請から見た保険点数について」

佐々木 毅（横浜市立大学附属市民総合医療センター病理部）

16:25 閉会挨拶

班長 澤井高志

抄録発表

1. 遠隔医療支援のためのCMS ポータルの試作
齊藤健司（岩手医科大学総合情報センター）
2. 汎用性あるテレパソロジーシステムの構築
園田晴久（(株) コーガク）
3. テレパソロジーのアンケート調査について
東福寺幾夫（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科）
4. 北陸における遠隔医療病理診断（テレパソロジー）の現状
原田憲一（金沢大学形態機能病理学）
5. テレサイトロジーをめぐる諸問題の解決に向けて
山城勝重（北海道がんセンター臨床研究部）
6. 平成17年度厚労省テレパソロジー研究班分担研究計画
渡辺みか（東北大学附属病院病理部）

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業

「医療効果・経済効果を目的とした遠隔病理診断の実用化と
これに関する次世代機器の調査・開発」研究班
(略称：厚労省テレパソロジー研究班)

平成17年度第2回班会議プログラム

班長：澤井 高志（岩手医科大学病理学第一講座）

平成18年1月27日（金） 午後1時30分～午後6時10分（午後1時開場）

平成18年1月28日（土） 午前9時～午後12時20分（午前8時30分開場）

会場：株式会社NTTデータ

東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル36F 電話：03-5546-8202

第1日目 1月27日(金)

13:00 開場

13:30 開会挨拶

班長 澤井高志
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 室長 千村 浩様

13:40 今年度の研究成果発表

【テレパソロジーシステムの現状と医療効果・経済効果】 (13:40-14:40)

「わが国のテレパソロジーの現状と課題」

東福寺幾夫 (高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科)

「テレパソロジーの医療効果・経済効果」

谷田 達男 (岩手医科大学医科卒後臨床研修センター)

「呼吸器外科領域における遠隔迅速病理診断の可能性」

江口 圭介、小林 紘一 (慶應義塾大学医学部呼吸器外科)

「遠隔医療の経済性の検討」

長谷川高志 (東北大学先進医工学研究機構)

【テレパソロジーシステムの新しい開発とその応用】 (14:40-16:50)

「光ファイバー動画テレパソロジーによる術中迅速病理診断」

野田 裕 (仙台市医療センター 仙台オープン病院消化器内科)

「テレパソロジー機器に関する新しいシステムの開発」

安田 伸宏 (放射線医学総合研究所)

「光ファイバーを利用したテレパソロジー」

古谷 敬三 (愛媛県立中央病院病理)

-----休憩 (10分) -----

「光ファイバーによるweb形式でのバーチャルスライドの評価」

村上 一宏 (東北厚生年金病院病理科)

「テレパソロジー受信画像でおこなった画像解析」

宇月 美和（岩手医科大学病理学第一講座）

「インターネットを活用した遠隔診療支援システムの開発方法について」

斉藤 健司、千葉 岳（岩手医科大学総合情報センター）

「高精細大容量画像の保存」

林 直人（NHK 放送技術研究所 放送デバイス）

「セキュアネットワーク基盤のテレパソでの活用について」

菅野 好史（株式会社NTT データ）

【テレパソロジーの応用拡大】（16：50-18：05）

「移植病理におけるテレパソロジー」

井藤 久雄（鳥取大学医学部基盤病態医学講座器官病理学分野）

「テレサイトロジー普及のための課題」

山城 勝重（北海道がんセンター臨床研究部）

「組織バンク、疾病登録におけるバーチャルスライド」

飯塚 徳重（大阪大学大学院医学系研究科病態病理学）

「ブロードバンド対応のテレパソロジーシステム」

中里 適（株式会社オリンパスエンジニアリング）

「テレパソロジーにおけるセキュリティについて」

山田 恒夫（財団法人医療情報システム開発センター）

18：15 懇親会

8:30 開場

【テレパソロジーの応用と実績】(9:00-10:45)

「テレパソロジーの申請から見た診療報酬について」

佐々木 毅 (横浜市立大学附属市民総合医療センター病理部)

「『P to P』方式によるe-mailでの

病理医—病理医間、病理医—細胞検査士間ネットワークの構築」

猪山 賢一 (熊本大学附属病院病理部)

「東北大学病院病理部の実績を通じたテレパソロジーの現状の解析」

渡辺 みか (東北大学病院病理部)

「前立腺生検とテレパソロジー」

白石 泰三 (三重大学医学研究科腫瘍病態解明学講座)

「岩手県血液ネットワークの構築」

石田 陽治 (岩手医科大学血液内科)

「沖縄地域におけるテレパソロジー」

吉見 直己 (琉球大学医学部腫瘍病理学)、中山 崇 (同 附属病院病理部)

「北陸における遠隔医療病理診断(テレパソロジー)の現状」

原田 憲一 (金沢大学大学院形態機能病理学)

-----休憩(10分)-----

【テレパソロジーシステムの制度と新しい応用】(10:55-12:10)

「テレパソロジーガイドラインの作成と地域医療支援ブロードバンドテレパソロジー」

土橋 康成 ((財)ルイ・パストゥール医学研究センター)

「テレパソロジーと認証」

菊田 昌弘 (株式会社日本電子公証機構)

「汎用性あるテレパソロジーシステムの構築」

園田 晴久（株式会社コーガク）

「ユビキタス社会におけるヴァーチャルマイクロスコープの必要性」

林 亨（株式会社日本ローパー）

「バーチャルスライド技術の応用」

高松 輝賢（(株)ダイレクトコミュニケーションズ）

12：10 閉会挨拶

班長 澤井 高志

経済産業省

遠隔医療セミナープログラム

医療管理者のための遠隔医療セミナー
光ファイバーを利用したテレパソロジーの普及
「IT 政策パッケージ 2005」の推進について

日時：平成 17 年 11 月 29 日（火）

会場：乃木坂ホール（国際医療福祉大学 東京事務所）

11:00-11:05 開会の挨拶

澤井高志（岩手医科大学病理学第一講座）

【関係者挨拶】（11:05-11:15）

経済産業省商務情報政策局 医療・福祉機器産業室 堀口 光室長

国際医療福祉大学 開原成允大学院長

1. 【ハード面から】（11:15-11:45）

1-1 「光ファイバー網の現状と今後の計画」

松村伊知郎（NTT レゾナント株式会社）

1-2 「光ファイバー動画対応の顕微鏡の特徴」

熊谷一広（フィンガルリンク株式会社）

-----昼食・休憩（40分）-----

2. 【テレパソロジーの現状と社会的側面】（12:25-13:25）

2-1 「テレパソロジーの現状」

渡辺みか（東北大学附属病院病理部）

2-2 「病院管理者によるテレパソロジーの導入についての意識調査」

東福寺幾夫（高崎健康福祉大学）

2-3 「テレパソロジーによるガイドラインの制定とその問題点」

土橋康成（（財）ルイ・パストゥール医学研究センター）

2-4 「テレパソロジーと認証」

菊田昌弘（株式会社日本電子公証機構）

3. 【応用面】（13:25-14:40）

3-1 「光ファイバーを活用した動画によるテレパソロジーでの迅速診断の成果」

野田 裕（仙台オープン病院消化器内科）

3-2 「光ファイバーによる web 形式でのバーチャルスライドの評価」

村上一宏（東北厚生年金病院病理科）

3-3 「光ファイバーによるインターネットを利用したテレパソロジー」

猪山賢一（熊本大学医学部附属病院病理部）

3-4 「光ファイバーによるバーチャルスライドの活用」

古谷敬三（愛媛県立中央病院病理部）

3-5 「光ファイバーを利用した医学生への遠隔臨床実習の試み」

吉見直己（琉球大学医学部病態解析医科学講座）

—————休憩（15分）—————

4. 【今後の課題】（14:55-15:40）

4-1 「病理標本作製の自動化の現状」

石塚 悟（サクラファインテックジャパン株式会社）

4-2 「大量スライドの高速デジタル化」

豊田祐一 (浜松ホトニクス株式会社)

4-3 「大容量データの保存技術」

林 直人 (NHK 放送技術研究所)

【総合討論】

15:40-16:10 普及を進めるにあたって課題の討論

システム導入にあたっての補助制度とインフラの低コスト化

16:10 閉会の挨拶

テレパソロジーにおける掲載記事

<掲載新聞>

- 日本経済新聞 (H17年10月2日)

<掲載雑誌>

- NEW MEDIA (H18年2月)

<TV>

- ワールドビジネスサテライト TV東京 (H17年11月4日)